

平成30年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	学び合い人と文化を育むまち
基本方針	文化を創り育むまち
基本施策名	芸術文化活動の推進

	所属	職名	氏名
作成者	文化課	課長	那須野 雅好
評価者	教育部	部長	西村 康正

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	交流学习センターや公民館等文化施設の整備が進み、生涯学習の拠点整備が進んだ。新たな文化施設の建設は難しい中、多様化する市民要望を受けたソフト事業の充実と、既存施設を最大限に活かした魅力ある文化活動の展開が求められている。
基本方針 (目指すべき方向性)	誰もが気軽に芸術や文化に触れることができる環境を整え、生きがいつくりや地域づくりにつながる場を創出します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H28	H29	H30	達成率	進捗状況	所管課
芸術・文化講座などの参加者数	人		14,844	15,000		14,609	97.4	停滞	文化課
美術館・博物館などの入場者数	人		78,096	80,000		70,892	88.6	停滞	文化課

施策指標の進捗状況と分析	施設の入館者数は、全体的には昨年より増加がみられる。しかし、近美を除いて全体的に横ばい傾向である。他方、コンパクト展示や連携事業における出前展示では、美術館・博物館の日頃の研究成果等をまとめ、多くの市民に見ていただくことができた。これらも入館者と同等に扱う方向で考えていきたい。
--------------	---

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費						事務事業の状況					重点化
				H28	H29	H30	H31	R 2	合計	事業区分	新/継	終期	方向性	正規職員数	
1	0110490	芸術教育普及事業	文化振興係	4,953,205	5,119,082	4,189,767	4,503,000	4,503,000	23,268,054	政策的業務	継続	期限なし	事業効果を高めるための方策を検討	0.96	
2	0110495	美術館・博物館連携事業	文化振興係	137,214	147,744	174,744	814,000	753,000	2,026,702	政策的業務	継続	期限なし	事業効果を高めるための方策を検討	0.33	
3	0110500	文化芸術施設整備事業	文化振興係	5,132,920	839,408	2,620,545			8,592,873	施設の管理運営	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	0.2	
4	0110515	豊科近代美術館管理運営事業	文化振興係	34,108,000	33,893,500	32,830,000			100,831,500	施設の管理運営	継続	期限なし	事業効果を高めるための方策を検討	0.2	
5	0110520	田淵行男記念館管理運営事業	文化振興係	18,079,000	19,228,000	18,956,000			56,263,000	施設の管理運営	継続	期限なし	事業の進め方の改善が必要	0.2	
6	0110525	飯沼飛行士記念館管理運営事業	文化振興係	2,516,926	2,516,653	2,382,203			7,415,782	施設の管理運営	継続	令和6以降	事業効果を高めるための方策を検討	0.03	
7	0110530	臼井吉見文学館管理運営事業	文化振興係	2,185,000	2,185,000	2,185,000			6,555,000	施設の管理運営	継続	平成30	事業の抜本的な見直しが必要	0.03	
8	0110535	穂高陶芸会館管理運営事業	文化振興係	6,993,000	7,344,000	7,344,000			21,681,000	施設の管理運営	継続	期限なし	事業効果を高めるための方策を検討	0.03	
9	0110540	文化団体補助事業	文化振興係	8,780,800	8,737,050	13,729,750	16,026,000	16,026,000	63,299,600	政策的業務	継続	期限なし	事業効果を高めるための方策を検討	0.73	
10	0110565	安曇野高橋節郎記念美術館管理運営事業	文化振興係	16,884,851	16,563,445	15,303,677			48,751,973	施設の管理運営	継続	期限なし	事業効果を高めるための方策を検討	1	
11	0110570	安曇野高橋節郎記念美術館教育普及事業	文化振興係	5,935,483	4,926,142	4,045,788	5,359,000	4,624,000	24,890,413	政策的業務	継続	期限なし	事業効果を高めるための方策を検討	1.19	
12	0110575	豊科郷土博物館等施設運営管理事業	博物館係	18,766,779	15,554,743	19,848,228			54,169,750	施設の管理運営	継続	期限なし	現状のまま実施することが適当	0.5	
13	0110580	豊科郷土博物館教育普及事業	博物館係	2,737,744	4,738,230	3,156,817	3,696,000	3,696,000	18,024,791	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま実施することが適当	1	
14	0110590	文化財資料センター施設運営管理事業	文化財保護係	4,851,696	4,212,904	3,575,425			12,640,025	施設の管理運営	継続	期限なし	現状のまま実施することが適当	0.2	
15	0110615	貞享義民記念館施設運営管理事業	博物館係	13,361,291	12,924,788	12,687,409			38,973,488	施設の管理運営	継続	期限なし	現状のまま実施することが適当	0.5	
16	0110620	貞享義民記念館教育普及事業	博物館係	244,280	1,177,514	352,365	533,000	533,000	2,840,159	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま実施することが適当	1	
17	0110645	文化財保全事業	文化財保護係	5,187,318	3,561,705	8,204,518			16,953,541	義務業務	継続	期限なし	現状のまま実施することが適当	1	
18	0110650	地域史研究と文化財保存・活用	文化財保護係	1,574,742	6,813,969	2,774,863	2,938,000	1,725,000	15,826,574	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま実施することが適当	1	

平成30年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	学び合い人と文化を育むまち
基本方針	文化を創り育むまち
基本施策名	芸術文化活動の推進

	所属	職名	氏名
作成者	文化課	課長	那須野 雅好
評価者	教育部	部長	西村 康正

19	0110660	文書館施設運営管理事業	博物館係	2,055,647	168,480	39,741,765	21,677,000	29,982,000	93,624,892	義務・政策 伊用事業	継続	期限なし	現状のまま 事業を 適当	0.5	
20	0110665	文書館教育普及事業	博物館係	4,247,058	2,708,344	2,440,284	4,251,000	5,311,000	18,957,686	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま 事業を 適当	0.5	
21	0110675	埋蔵文化財保護事業	文化財保護係	9,247,786	6,380,590	7,937,321			23,565,697	義務業務	継続	期限なし	現状のまま 事業を 適当	1.2	
合計				167,980,740	159,741,291	204,480,469	59,797,000	67,153,000	659,152,500						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	美術館・博物館9館のうち、5館については指定管理業務としている。新市立博物館構想（H27）では、9館を博物館グループと美術館グループに集約し、基幹博物館、基幹美術館がそれぞれのグループを統括していく方向としている。新市立博物館が具体化するまでの間は、現在の施設管理体制を基本としつつも、実態に即した施設の運営・管理を行いたい。 また、外部の文化振興関連の助成金を積極活用し、文化事業の促進を図る。現在、3件約600万円の内示を受けている。
重点化事務事業の考え方	平成30年度から39年度までを目標年度とする第2次文化振興計画では、「学ぶ心が育ち 文化のかおるまちをつくります」を基本理念とし、ハードからソフトへと基軸を移した方向性が鮮明となっている。 その分、博物館・美術館の出前展示や学芸員の人材育成を進めるとした。 平成30年度では「コンパクト展示」と称した出前展示を計19回、延べ626日開催。本庁ロビーや公民館、小中学校などで行った。今後も様々な公共施設への展開を図る。 平成30年10月に文書館が開館した。古文書や歴史的公文書の収集・整理と公開を進めていく。
縮減・廃止事務事業の考え方	新市立博物館構想では、公共施設の再配置計画と連動していくつかの施設の統廃合や縮小を目指すとしている。平成30年度には高橋節郎記念美術館の指定管理移行と、臼井吉見文学館の文書館管理との一元化を図ることができた。 令和元年度では、既存施設を新市立博物館に利用できないか、再度検討する予定。
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出)	施策指標である美術館・博物館の入場者数は減となったが、この一部は入場者のカウント方法の変更も含まれる。新市立博物館構想に基づくコンパクト展示の開催や博物館紀要の作成など、博物館が多様な活動を行い幅を広げてきている。新規開館した文書館や文化財資料センターと連携した博物館運営を行っていく。 基本的には第2次文化振興計画に示された、12の施策と44の具体的な取り組みに沿った事業展開を図る。芸術文化の振興のため、特にハードからソフトへと基軸を移した事業の展開を図る。